

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表(30年度) かんぱち先生の自然学校・函館校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	60	40		児童発達支援事業での1名当り2.47㎡を参考にすると、当事業所では1名当り8.25㎡が確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか		40	60	人員基準は満たしているが、児童の状態に合わせた支援を行う為には、最低1名の増員を要望している。
	③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		40	60	指導訓練室はバリアフリー化されているが、静養室や職員室へは2段程度の階段が設置されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	60	20	20	毎日行われる朝礼・終礼の際に、児童の様子や支援結果等を全職員が参加し行っていて、平成29年度よりは定着してきている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60	40		アンケート調査や茶話会等で得られた意向や要望等には、アンケート結果報告書により、保護者への回答を行います。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80	20		平成31年3月中にホームページ上で公開予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100	職員全員が外部評価を受けるべきと一致しております。早々に第三者評価を受けられるよう、法人側への要請を行います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	20	80		外部研修の機会には、最低1名の参加するようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			児発管が聞き取りをしたアセスメントをもとに、職員も参加し計画の作成を行っております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40	40	20	インフォーマルアセスメントを重視しているのが現状です。既に発達検査などを受けられている場合は、その結果を参考にさせて頂いております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60	40		児童一人一人の計画に沿った支援や関わり方を検討し、具体的な支援内容の立案を全職員が参加し作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		100		活動プログラムの立案時点で、なるべく多くの療育方法を検討している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	20	60	20	平日は活動プログラムによる支援を行っております。休日、長期休暇の活動は心身の状態を把握した上で、施設外活動を適宜取り入れるよう心掛けています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	40	40	20	活動プログラムの立案時点で個別活動と集団活動のバランスを考慮しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	40	60		朝礼時に、児童一人一人の本日行う課題や支援に対しての注意点等を全職員で確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80	20		終礼時に、各支援担当者から報告を行い、必要があれば次回利用日の支援内容の変更を行っております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	40	40	20	個人日誌への記入に関しては職員間で何度か検討しました。以前は療育内容が漠然としていたので、療育に特化した様式に変更しました。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80		20	定期的なモニタリングだけではなく、計画変更が必要となった時点で変更を行います。
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	20	60	20	29年度のアンケートでは地域交流の機会の提供に関して、十分では無いと報告致しました。30年度は積極的に働きかけを行い地域交流やボランティア等の受け入れができました。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80		20	児童発達支援管理責任者及び児童指導員が参加致します。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80		20	養護学校や支援学校との連携は先生方と直接行っておりますが、一部の一般校支援級との連絡調整や情報共有の部分で、もう少し働きかけが必要と考えています。今後は個別支援計画の作成等への参加を依頼して共有に努めます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		60	40	開設時より対象者はおりませんが、今後備え体制を整えて参ります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20	60	20	平成31年度の新一年生の通所決定者が1名おります。保護者からの承諾を得て児童発達支援事業所との連絡調整を行い連携を致します。

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表(30年度) かんぱち先生の自然学校・函館校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40	60		平成30年度の卒業生のうち1名は障害福祉サービス事業所への移行が決定しておりますが、既に担当者との面談を済ませております。
	②5	児童発達センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		80	20	児童発達センター等が行う研修には参加する事が出来ました。今後、児童の状況の変化に応じてすぐに助言等を頂ける体制作りを行って参ります。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		40	60	障害のない子どもとの交流の場として、児童センターでの活動を行っております。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	80	20		函館市・北斗市・七飯町(2市1町)の放課後等デイサービス事業所連絡会への参加は積極的に行っております。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80	20		日々の活動内容や子どもの変化等は連絡帳により報告し、返答を頂いておりますが、無回答の場合は送迎時に確認を行っております。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		80	20	相談援助や助言は随時行い、保護者の負担軽減に繋げております。今後はペアレントトレーニング研修の機会に参加をして職員のスキルアップに努めます。
保護者への説明責任等	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80	20		重要事項説明書により、左記内容の説明を行っております。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80	20		送迎時や連絡帳、電話等により寄せられた相談には全職員と共有し、助言や支援を行っております。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80	20		保護者間の連携については、茶話会や行事等により参加を頂き交流の機会の提供を行っております。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60	40		苦情解決の体制及び手順については、重要事項説明書により保護者への説明を行っております。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	40	40	20	事業所独自のカレンダーにより、行事予定を報告しています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	80	20		職員会議の中で周知を行っております。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80	20		連絡帳には子どもが見ても良い情報を記載しています。保護者に伝えなければならない事は送迎時に口頭や文章により行っております。
③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60	20	20	事業所主体の行事には、ボランティアの要請や町内会等へ告知を行い参加の呼びかけを行っております。	
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60	20		マニュアル整備は出来ているが、保護者への周知の部分では不十分と考えている。法人のホームページでの告知を検討中です。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			消防法での訓練は商業施設が行う訓練に年間4回の参加しています。また、自然災害(地震・風水害等)に備えたマニュアルを作成し各想定に応じた訓練を行っております。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	80	20		年間研修計画により、年間3回以上の研修を行っております。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40	60		今現在、対象利用者はおりませんが障害者虐待の防止と対応の手引きの内容は勉強会の中で周知しております。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		80	20	アレルギーについては保護者からの情報に頼っている。今後は保護者からの同意を得られる場合は指示書の提出を行うよう努めます。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20	40	40	些細な事案でも作成するように、職員への周知は行っております。

【保護者向け】放課後等デイサービス評価表（30年度） かんぱち先生の自然学校・函館校

		チェック項目	はい	どちらともいえ	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	3		(無回答1)
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	16			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16			・調理や野外活動、季節ごとのイベントや企画に、とても楽しんで参加している。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	5	2	(無回答1) ・特に交流する機会は求めていません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16			
	⑧	日頃から子どもの状況や保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	16			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15			(無回答1)
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	2	1	・現場の先生方は本当にしっかりと対応してくれていると思いますが、昨年も申し上げましたが理事長や幹部の方は説明をしない、苦情にも対応しない人達と思っています。昨年記載した苦情に対しても何の返答もないので、このような評価表への記入は意味があるのでしょうか。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	5		
⑭	個人情報に十分注意しているか	16				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	3	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16			・学校以外でのお友達と仲良く遊べて嬉しいようです。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	15	1		・普段お世話になっている先生方の支援に対しては満足していますが、組織(法人)としては満足しているとは言えません。 ・土曜・祝日や長期休暇日にゲームを持って行く事があたりまえになっていて正直困っています。ゲームではなく、友達と過ごして欲しいです。